

授業アンケートをおこないました

前・後期期間中に授業アンケートを行いました。昨年度はコロナ禍による臨時的質問項目を設けましたが、今年度は例年と同内容の5項目のアンケートを実施しました。アンケートの内容と結果の詳細については、FD活動のページより学内限定でご覧いただけます。今年度もオンライン授業と対面授業が切り替わり、教員も対応に苦慮されたことと存じますが、オンライン授業にも慣れて様々な工夫が凝らされたようです。次年度からは、「学修成果・教育成果本位」のアンケートにするために、質問項目を大幅に見直す予定です。

全学FDフォーラムを開催しました

3月9日（水）に、国立情報学研究所教授・高野明彦先生をお迎えし、「デジタルアーカイブの活用で大学教育はどう変わるのか」というテーマでFDフォーラムを開催しました。近年、国立国会図書館が運用する「ジャパンサーチ」をはじめとしてデジタルアーカイブの整備が急速に進んでいます。こうしたデータをどのように検索し、創造的に活用して学生の能動的な学びにつなげるのか、連想検索システムを開発された高野先生の視点から興味深いお話を伺うことができました。

全学FD研修を実施しました

今年度の全学FD研修はFD委員会と教育イノベーションセンターの共同実施となりました。例年通り、「授業デザイン研修ワークショップ」と題した主に新任教員対象の研修とし、コロナ禍の状況下において対面研修を1回、あとの4回はオンラインで実施しました。2019年度本委員会における提案および「2021年度の教育に関する方針」のキーワードを基に計画を立て、ABD読書法、反転授業を実践している教員を囲んでの「座談会」を初の試みとして取り入れ、最終回の「協働でシラバスづくり」を目指しました。なお、各回の担当講師はすべて本学教員であり、参加者には事前学習動画の視聴を義務づけました。

各学部・センターの今年度のFD活動

法学部

「大学（摂南大学法学部）での主体的・自律的学修のために必要な能力と入学前教育・初年次教育」というテーマで、法学部FDフォーラムを2月22日に実施しました。①「キックオフセミナー」に関してその内容の紹介、②「First year study guide」の活用、および③他大学での取り組み、に関する報告後、参加者によるディスカッションを行いました。特に、法学部における初年次教育（一年生ゼミを中心とする）においてどのような教育を行うべきかに関して、議論を深めました。

外国語学部

2022年度の学部改組を控え、10月26日、「国際学部における新しい海外での学び」と題するFDフォーラムを遠隔形式で実施しました。語学研修に終始しない主体的で深い学びを短期留学のかたちでいかに実践するかを探るため、フィリピンでのスタディーツアーを行う認定NPO法人の事務局長兼実務担当者と、自身の研究フィールドであるメキシコでの研修を企画・引率する他大学の研究者から活動内容と成果を拝聴しました。両氏が2019年度から実施されているオンライン研修のご紹介も参考になりました。

経済学部

本年度のFD活動の内容は、(1)学生とのFDミーティング(経済学部学生ミーティング)、(2)教員のFD勉強会、(3)授業アンケートにもとづく教員表彰、の3点でした。(1)は2022年3月1日にオンラインで開催し、授業や設備に対する要望、大学の新型コロナ対策についての意見を取りまとめました。(2)は2022年3月15日の教授会終了後に開催し、FDミーティングで出された要望・意見や臨時授業アンケートで寄せられた意見について、情報共有・意見交換を実施しました。なお、(3)の教員表彰もこの勉強会で実施しました。

経営学部

本年度経営学部では次のようなFD活動を行いました。学部FDフォーラムの開催(①8/8~9/10、録画ビデオによる開催、視聴者数:24名、講演者:岩坪加紋教授、テーマ:「ここ一年の経験を講義に活用する試み~ICT素人の場合~」、②2/4、於:532教室、出席者数:13名、講演者:佐藤秀昭講師、テーマ:「近代住友の経営史研究とアーカイブス」、授業見学(①7/9(金)~7/22(木)、オンライン式による参加、参加者数:21人、延べ42科目、②12/6(金)~12/18(土)、対面式による参加、参加者数:21人、延べ22科目)です。

理工学部

3月15日(火)、「アフターコロナを見据えた授業方法に関するアンケート結果」というテーマで、理工学部FDフォーラムを実施しました。①「アフターコロナを見据えた授業方法に関するアンケート」のまとめ・分析と代表的な回答の紹介した後、②上記アンケートに関する各授業での取り組みについて、参加者による積極的なディスカッションが行われた。特に「来年度以降の対面授業で、ICTツールの有意義な活用が可能な科目」、「ICTツールを活用したオンライン授業を継続することが有意義だと考えられる科目」「『反転授業』に合う科目、合わない科目」に関して、議論が深められました。

薬学部

FD活動として、FD・SDフォーラム(4月、9月)、FDワークショップ(11月)、を実施しました。FD・SDフォーラムでは、学部の現状と課題、運営方針が教職員間で共有されました。FDワークショップでは、刻一刻と変化する医療を取り巻く環境や薬剤師に対する社会からのニーズにマッチした学習効果の高い教育方略について、卒業数年の卒業生十数名を交えて議論し、得られた情報を教員・卒業生間で共有しました。

看護学部

FD研修会を2回開催しました。第1回は8月に研究をテーマに外部講師をお招きし、大学院生も参加可能な遠隔形式で開催しました。国際誌への投稿のコツ等の最新情報も提供され、研究成果を発信する意欲を高める機会となりました。第2回は3月に教育をテーマに健康管理センターの菊岡先生を講師に開催し、学生の指導・支援の在り方について学び、教員間で認識を共有することができました。授業のみならず学部独自の実習アンケートを実施し、学生へのフィードバックとともに教員の学部長表彰を行いました。

農学部

農学部では、2021年度の学部独自のFD活動として、6月28日にFD・SDフォーラム「農学部情報共有会」を開催し、2020年4月の農学部開設後1年間の取り組みや学生の修学状況等についての情報を共有しました。また、11月29日にFD・SD「特別講演会」を開催し、枚方キャンパス学生相談室カウンセラーの菊岡千夏氏に、学生からの相談への教員の対応方法についてアドバイスいただくとともに、学生相談室が実施した学生アンケートの結果について紹介していただきました。

教職支援センター

2021年度は、前期は対面授業で開始された後、すぐにオンライン授業に切り替わり、最後はハイフレックス授業で終わるという授業形態でした。教職支援センターでは、それぞれの授業形態の効果や課題について定期的に情報交換を行い、担当者それぞれに授業のリフレクションを促してきました。後期は全面的に対面授業が行われたなか、昨年度と同様に「授業公開・参観」の形はとらず、センター兼任教員5名の共同担当の科目において共同で行う授業回の相互参観および意見交換を行い、授業内容やカリキュラムへのフィードバックを図りました。

スポーツ振興センター

スポーツ振興センターでは、FD活動として独自にスポーツ科目の授業アンケートを行いました。2021年度はコロナの影響で授業がオンラインになったり、途中で対面になったりと学生が混乱するような状況でした。そのような状況下スポーツ振興センターが提供する教材が学生にとってどれくらい満足度を得たかを知り、さらに良い授業を提供できるような参考資料としました。本来対面で行われるべきスポーツ系の授業でのオンライン授業は、学生同士のコミュニケーションにマイナスの要因に大きく影響し、対面の重要性を再確認しました。

摂南大学 WEB サイト FD 活動報告ページに詳細を掲載

FD ニュース本紙では、年度内の活動を簡単に紹介しています。

詳細はホームページ内のFD活動のページをご覧ください。

摂南大学 Web サイトトップから、「教育・研究」>「教育システム」>「FD 活動」とお進みいただき、各活動の詳細をご覧ください。